

### ●女性が活躍できる社会をめざして

太田市長と阿部知事、エムケー精工株式会社（千曲市）の丸山将一社長の3人が発起人となり、「女性が選ばれる長野県を目指すリーダーの会」を設立するにあたり、7月7日、県庁で会見を開き、企業や団体の代表等に向けて参加を呼びかけました。

この会では、働く女性が自分らしく職業生活を送れる社会を目指し、県内企業、法人や自治体のリーダーが課題を共有し、各組織で女性管理

職の登用や男性の育児休業の取得促進に取り組みます。太田市長は「男女が協力し合って働く環境づくりが必要。市では女性管理職の割合と男性の育児休業取得率の向上に取り組む」「阿部知事は「女性が活躍できる環境を整えるためには、リーダーの意識が重要」と話しました。

同会では、8月4日までメンバーを募集。9月14日に長野市内で初回ミーティングを開きます。



会見で趣意書を掲げる発起人。太田市長(左)、阿部知事(中央)、丸山社長(右)

### ●安曇野の特産品をPR

太田市長とJAあづみの千國茂組合長らが7月22日から4泊5日でシンガポールに渡航し、オール安曇野体制で市の特産品をPRしました。

市長が海外でトップセールスを実施するのは今回が初めて。24日には現地の日本食レストランを貸し切って試食会が開かれました。安曇野市産のワサビ、信州サーモン、ソバ、タマネギなどを使った料理や、ワイン、リングジュースなどが振る舞われ、参加した現地の飲食店や小売・卸売業の関係者や報道機関、インフルエンサーなど約30人から好評を得



安曇野産の食材を使った料理を楽しむ参加者

### シンガポールトップセールス

たことに、太田市長は手応えを感じていました。

シンガポールは東南アジアの重要市場であるとともに、空路や船便の交通結節点。現地では健康志向も高まっていることを踏まえ、主に富裕層をターゲットに安曇野産の質の高い農産物の販路拡大を目指します。11月から12月には、シンガポール繁華街にある商業施設内の日系スーパーで「あづみのフェア」が開催されることとなり、試食会で提供した農産物のほかリングゴや米、日本酒が紹介される予定です。

### ●アクセスと交通安全の向上へ

#### ラウンドアバウト 環状交差点開通式

市内2カ所目となるラウンドアバウトが豊科南穂高の市道に完成しました。8月7日、開通式が行われ、市や安曇野警察署、地元区長、地権者、施工業者ら13人が開通を祝いました。太田市長は「開通により、広域的なアクセスの向上が図られるようになった。周辺道路の整備も円滑に進めていきたい」とあいさつしました。

完成したラウンドアバウトは、直径32メートルで、総事業費は3億600万円。財源には国の交通安全対策補助金を充てています。ラウンドアバウトは交差点内が時計回りの一方通行になる円形交差点。環道には徐行で進入し、環道から出る際は直前でウインカーを出します。信号機に頼らない交通システムのため、停電時でも混乱することなく通行できます。また、交差点に入るすべての車両が同じ方向に回る



上：テープカットをして開通を祝う  
下：開通したラウンドアバウトで通り始め

ため、通常の交差点に比べ車両間の交錯が少なくなり交通事故の減少が見込まれます。

この交差点は、豊科北小学校、北中学校の児童生徒の通学路となっており、学校への交通安全教室を計画しており、22日の始業式には、市と安曇野警察署で、通学時間にあわせて現地で交通安全全啓発を行いました。

### 市発注の優良建設工事7件を表彰

市は7月19日、令和4年度に完成した市発注の建設工事120件のうち、優れた工事成績を取めた7件を表彰しました。代表者へ表彰状を手渡した太田市長は「難度の高い工事を無事に完成させ、品質の高い施工にご尽力いただいたことに感謝したい」とあいさつ。受賞者代表の北野建設株式会社松本支店執行役員支店長・上原秀さんは「安曇野市の発展に少しでも尽力できるよう、今後も協力していきたい」と応じました。

受賞者は次の皆さんです。(敬称略)

▷山崎建設株式会社▷横山建設株式会社▷北野・佐原特定建設工事共同企業体(北野建設株式会社安曇野営業所・株式会社佐原建設)▷株式会社アイネット安曇野営業所▷武井・横山特定建設工事共同企業体(株式会社武井組・横山建設株式会社)▷株式会社武井組▷有限会社ニッコウ



表彰された事業者の皆さん

### 表敬訪問 大豆生産で農林水産大臣賞受賞

穂高柏原の農業・安田大樹さんが、第51回全国豆類経営改善共励会の大豆家族経営の部で最高位の農林水産大臣賞を受賞しました。6月27日に学士会館(東京都千代田区)で表彰式が行われ、7月19日、市役所を訪れ太田市長に喜びを報告しました。



表彰状を掲げる太田市長(左)と安田さん(右)

### アウトドア拠点通信



#### 安曇野市東部アウトドア拠点整備基本構想の策定に向けて 第1回基本構想策定委員会と3つの分科会を開催

6月14日(水)、市は安曇野市東部アウトドア拠点整備基本構想策定委員会の第1回目を開きました。委員会は太田市長をはじめ、国・県の河川管理者や、大学教授、カヌー競技元日本代表選手ら有識者など15人で構成しています。

この拠点は、カヌーなど水辺のアクティビティを中心に、東山のトレッキングなど各種アウトドアを通じて、過疎指定を受けた明科地域を活性化しようと市が整備を目指すものです。市ではアウトドアや地域に関連する団体等の意見を幅広く把握するため、「水」「里山」「地域連携」の3つの分科会も設け、

その初回を7月8日、11日の2日間に分け開きました。今後、分科会等の意見を参考に策定委員会で拠点の内容を検討し、年度内には基本構想をまとめる予定です。



6月14日の第1回策定委員会